

# 平成28年度 中間評価報告

福島県立双葉高等学校

## 1 中間評価の概要

### (1) 実施方法等

学校経営・運営 ビジョンにおける 重点実践目標No.	重点実践目標に対応する具体的目標の実践・評価部署				
	教 務 部	生徒指導部	進路指導部	保 健 部	3 学 年
1		○		○	○
2	○		○		○
3	○	○		○	○
4	○		○		

#### 重点実践目標

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成 | 2 学力の向上と進路指導の充実 |
| 3 豊かな人間性の育成          | 4 開かれた学校づくりの推進  |

### (2) アンケート及び回答数

対 象	中間評価のためのアンケート			
	実施時期	対 象 数	回 答 数	割 合
教 職 員	9月	7	7	100%
教職員 生 徒	9月	11	11	100%
以外 保 護 者	9月	11	11	100%

### (3) 評価基準について

評価	A	B	C	D
評価基準	達成できた	やや達成できた	あまり達成できなかった	達成できなかった

## 2 中間評価のまとめ

### (1) 中間評価実施の目的、意図

今年度末での休校を踏まえ、今年度当初に「学校経営・運営ビジョン」を策定し、PTA総会等で保護者の皆様に説明するとともに、重点実践目標の達成に向けて教職員の共通理解のもとに取り組んできた。

教職員・生徒・保護者によるアンケート等により、重点実践目標がどの程度達成されているか、課題や改善点は何かを把握し、年度後半の教育活動に反映させるために中間評価を実施した。

### (2) アンケート結果の分析 (別紙「アンケート (中間) 集計結果」参照)

○「そう思う」と「だいたいそう思う」割合の合計が高いアンケート項目

※ ( ) はアンケート項目の番号

	教 職 員	生 徒	保 護 者
1 位	(1, 2, 3, 4, 9, 10) 100%	(1, 2, 3, 4, 5) 100%	(1, 2, 3, 4, 5, 10) 100%

教職員、生徒、保護者によるアンケート結果において、評価が高かった内容は次のとおりであり、今後も継続して取り組んでいきたい。

- ・進路希望達成に向けた積極的な取組 (1, 4)
- ・分かりやすい授業にするための工夫 (2)
- ・マナーやエチケットの規範意識についての指導 (3)

○「そう思わない」と「あまりそう思わない」割合の合計が高いアンケート項目

※ ( ) はアンケート項目の番号

	教 職 員	生 徒	保 護 者
1 位	(7) 28.6%	(7) 81.8%	(7) 36.4%
2 位	(5, 6, 8) 14.3%	(6) 27.3%	(6, 9) 27.3%
3 位		(10) 18.2%	

教職員、生徒、保護者からのアンケート結果から、次の2点についてこれまで以上に指導していく必要があると判断される。

- ・家庭学習の習慣化（週20時間以上）(7)
- ・開かれた学校づくり、積極的な情報発信(6)

昨年も同様の項目が低評価である。開かれた学校づくりについては、さらに努力していきたい。

(3) 達成状況、及び後半期へ向けての改善方策等

○ 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成【重点実践目標No. 1】

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	2	1		

全体的に落ち着きのある生活態度、しっかりした服装である。少人数の生徒なので、細かい指導で対応したい。

健康診断の適正実施と事後措置の徹底については、しっかり対応できた。

生徒たちは、進路目標も決まり、落ち着いて学校生活を送っている。休校前最後の双高生として、自覚を持って生活できるように継続して指導したい。

○ 学力の向上と進路指導の充実【重点実践目標No. 2】

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	3	2		

生徒の進路目標に応じた授業編成や習熟度別授業を行っている。引き続き、生徒の進路実現のため、研究改善に努めたい。

少人数の利を活かし、各生徒の進路目標に応じた個別指導を実施しており、教員間でも課題の実施状況等を確認している。

進路希望調査(2回)、進路ガイダンス、日本大学工学部見学会、一日看護体験、小論文講座(2回)等の進路指導部による企画・行事をとおして、生徒各自が自分の進路を考え、進路目標を具体的に定めるきっかけとなった。

平常課外、夏期課外、大学支援の強化学習会、小論文講座(生徒・教員対象)、就職・進学面接指導等、生徒の進路実現のための学力向上をはじめ様々な支援を行った結果、その成果が達成されつつある。

○ 豊かな人間性の育成【重点実践目標No. 3】

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	4	1		

生徒が実際に書店で図書の選定をするなど、読書を推進する活動を積極的に行っている。

第1回(5月)の被害実態調査「特別な指導」においても、「いじめ」の実態は見られなかった。機会を見つけては、「いのちの大切さ」を指導していきたい。

生徒の心の健康の充実については、各自の心のケアはよくできた。このままカウンセリングを続けていきたい。

校舎内外の美化については、人数は足りないものの、しっかりできている。手ばかりがないよう努めていきたい。

少人数であることにより、部活動や生徒会活動、他校との交流会をとおして、多くの生徒が人間性を育む機会を得ることができた。卒業に向けて、更なる人間性の育成に取り組んでいきたい。

○ 開かれた学校づくりの推進【重点実践目標No. 4】

評 価	A	B	C	D
評価部署による評価数	2			

ホームページを頻繁に更新している。担当者がwebページ構築の専門研修に参加し、内容についても改善に努めている。また、部活動や休校関係での取材にも多く対応し、情報を広く発信している。

学級担任との連携を密にし、進路説明会を実施するなどして生徒に新しい進路情報を常に発信することにより、進路意識の向上に努めた。

# 平成28年度 福島県立双葉高等学校 学校経営・運営ビジョン

本校は、知・徳・体のバランスのとれた人間形成を教育目標に掲げております。潜在的可能性を持った個の集合体の中で、自己を磨き自己の個性を極める生徒を育てるとともに、生徒への思いやり、加えて忍耐力を養い仲間と仲間に向かう仲間同士の絆を深めるよう支障します。質実剛健・終始一貫の校訓のもと、みずみずしい感性といわき明皇大学内に設置されたサテライト校舎での学習活動も5年目を迎えますが、平成29年3月末をもって休校することが決定しているなか、少人数教育の推進、大学との連携をさらに深め、3年生11名の生徒たちの能力を十分に伸ばさせ、それぞれの夢や希望が実現できるよう教職員が一丸となって教育活動に邁進します。家庭、地域からこれまで以上の支援をいただきながら、教育基盤の充実を図り、福島県、ふるさと双葉の復興、復興はもとより、国内外の様々な分野で活躍、貢献できる人材、そして、将来の学校再開の礎となりうる人材を育成していきます。教職員一人一人が使命感と自信を持ち、高い倫理観と自律心を堅持しながら、教育活動に取り組みます。

校長 小島 稔

校訓 質実剛健 終始一貫

1 礼儀を重んじた自律的な生活態度の育成      2 学力の向上と進路指導の充実      3 豊かな人間性の育成      4 開かれた学校づくりの推進

具体的目標の時系列計画・周知と実践 (DO)			
教務部	生徒指導部	進路指導部	保健部
① 新学習指導要領に基づいた教育内容の工夫と研究改善に努める	① 高校生としてのマナーとエチケットを身につけさせる(特別指導ゼロ)	① 生徒の進路目標決定のため、積極的な支援を行う	① 生徒の心の健康の充実に努める(日常の健康観察及びカウンセリングによる心のケアの実施)
② 各教科・学年と協力して、平日・週末課題等により家庭学習の習慣化を図る(最低週20時間)	② 「いのち」を大切にすることを育む(「いじめ」のない安全な学校生活)	② 生徒の進路希望実現のため、学力の向上を図る	② 校舎内外の美化に努める(通常清掃の徹底)
③ ホームページ等を利用して、地域・保護者に広く情報を発信し、本校教育活動への関心を高める		③ 進路情報を適宜発信し、常時進路意識を高める	③ 健康診断の適正実施と事後措置の徹底に努める
④ 生徒の図書の利用促進と読書の定着化を図る			③ 豊かな人間性の育成を図る

計画の定期的な確認 (CHECK)      評価      自己評価      年度末 (2月)

改善・向上 (ACTION)			
反省	成果と課題を分析 改善項目の究明	改善	開かれた学校
		改善	説明責任

平成28年度 学校評価アンケート

No.	質 問 項 目	学校経営・運営ビジョンの目標との関連											
		重点 1	重点 2	重点 3	重点 4	教務 指導	生徒 指導	進路 指導	保健	3年			
1	自分たちの進路希望に対応できるような教科・科目が設定されている。		○					○					
2	先生は、分かりやすい授業にするために工夫し、学習内容や授業の充実に努めているとともに、少人数クラス編成の特色を活かして、学力の向上に積極的に取り組んでいる。		○					○					
3	明るい挨拶、礼儀や言葉遣いなど、高校生としてのマナーやエチケットの規範意識についての指導が十分に行われている。	○								○			○
4	先生は、進路希望達成のため、個々に応じた面談や進路指導をはじめ、課外授業や長期休業中の講習等により、進路希望達成状況の向上に積極的に取り組んでいる。		○								○		○
5	部活動の顧問の先生は、熱心に指導して部の活性化を図り、悩みや相談にも親身になって応じてくれる。					○							
6	公開授業やホームページ、学年だより等による情報発信によって、保護者や地域との連携が十分に果たされている。						○			○			
7	出された課題をきちんとやり、家庭学習の習慣を身に付けるとともに、週20時間以上行うよう心がけている。		○							○			
8	学校での健康診断等をきちんと受けるとともに、結果に応じて必要な事後措置も欠かさずに行うなど、宿泊施設での生活も含め、健康について自己管理するよう心がけている。	○											○
9	読書に親しむ習慣が身に付くとともに、学習等にも図書館を積極的に利用している。					○							
10	生徒会行事等に積極的に参加しており、いじめ等もなく、学校生活が楽しい。					○							○

平成28年度教職員学校評価（中間）【回答数7／7】

No.	質問項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	思う	思わない
1	生徒の実態に対応できるような教育課程の研究と改善に努めている。	3	4			100.0%	0.0%
		42.9%	57.1%				
		40.0%	60.0%				
2	少人数クラス編成の特色を活かし、「分かる授業」や質の高い授業を推進するなど、授業内容の工夫と改善に努め、学力の向上に取り組んでいる。	4	3			100.0%	0.0%
		57.1%	42.9%				
		30.0%	70.0%				
3	高校生としてのマナーやエチケットの規範意識を身に付けさせるなど、礼儀を重んじた自律的な生活態度を育成する指導を行っている。	3	4			100.0%	0.0%
		42.9%	57.1%				
		30.0%	60.0%	10.0%			
4	個々の生徒に応じた面談や進路指導の充実に努め、生徒の進路希望実現を積極的に支援することにより、進路希望達成状況の向上を図っている。	4	3			100.0%	0.0%
		57.1%	42.9%				
		30.0%	70.0%				
5	部活動の活性化を図るとともに、悩みや相談にも親身になって対応し、より豊かな人間性の育成に努めている。	2	4	1		85.7%	14.3%
		28.6%	57.1%	14.3%			
		30.0%	40.0%	30.0%			
6	授業等の公開やホームページ、メール等による情報発信により、生徒・保護者・地域に対して開かれた学校づくりとしての説明責任を果たすよう努めている。	3	3	1		85.8%	14.3%
		42.9%	42.9%	14.3%			
		22.2%	55.6%	22.2%			
7	週20時間以上の家庭学習習慣を身に付けられるよう、適切な課題を出したり注意したりするよう心がけている。		5	2		71.4%	28.6%
			71.4%	28.6%			
			70.0%	30.0%			
8	健康診断等の結果に応じて必要な事後措置をきちんと行うとともに、宿泊施設での生活も含め、健康・安全について自己管理ができるような指導を行っている。	2	4	1		85.7%	14.3%
		28.6%	57.1%	14.3%			
		30.0%	60.0%	10.0%			
9	各教科と連携を図り、図書コーナーや大学図書館の有効な活用等の読書についての指導を行っている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		10.0%	70.0%	10.0%	10.0%		
10	生徒が楽しい学校生活を送れるよう、生徒とのコミュニケーションを図るなどして、いじめや非行の未然防止・早期発見に努めている。	2	5			100.0%	0.0%
		28.6%	71.4%				
		40.0%	60.0%				

各項目の下段の数値は27年度中間の割合

平成28年度生徒アンケート（中間）集計結果

	回答数	回答率	在籍数
総数	11	100.0%	11
1年生			
2年生			
3年生	11	100.0%	11

No.	質問項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	思う	思わない
1	自分たちの進路希望に対応できるような教科・科目が設定されている。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		48.3%	37.9%	10.3%	3.4%		
2	先生は、分かりやすい授業にするために工夫し、学習内容や授業の充実に努めているとともに、少人数クラス編成の特色を活かして、学力の向上に積極的に取り組んでいる。	2	9			100.0%	
		18.2%	81.8%				
		37.9%	55.2%	6.9%			
3	明るい挨拶、礼儀や言葉遣いなど、高校生としてのマナーやエチケットの規範意識についての指導が十分に行われている。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		31.0%	41.4%	17.2%	10.3%		
4	先生は、進路希望達成のため、個々に応じた面談や進路指導をはじめ、課外授業や長期休業中の講習等により、進路希望達成状況の向上に積極的に取り組んでいる。	4	7			100.0%	
		36.4%	63.6%				
		51.7%	41.4%	3.4%	3.4%		
5	部活動の顧問の先生は、熱心に指導して部の活性化を図り、悩みや相談にも親身になって応じてくれる。	5	5			100.0%	
		50.0%	50.0%				
		50.0%	39.3%	3.6%	7.1%		
6	公開授業やホームページ、メール等による情報発信によって、保護者や地域との連携が十分に果たされている。	3	5	3		72.7%	27.3%
		27.3%	45.5%	27.3%			
		27.6%	44.8%	20.7%	6.9%		
7	出された課題をきちんとやり、家庭学習の習慣を身に付けるとともに、週20時間以上行うよう心がけている。		2	9		18.2%	81.8%
			18.2%	81.8%			
		37.9%	17.2%	37.9%	6.9%		
8	学校での健康診断等をきちんと受けるとともに、結果に応じて必要な事後措置も欠かさずに行うなど、宿泊施設での生活も含め、健康について自己管理するよう心がけている。	4	5	1		90.0%	10.0%
		40.0%	50.0%	10.0%			
		44.8%	51.7%	3.4%			
9	今年度新設された図書コーナーを活用し、読書に親しむ習慣が身に付くとともに、学習等で大学の図書館を積極的に利用している。	4	6	1		90.9%	9.1%
		36.4%	54.5%	9.1%			
		20.7%	44.8%	10.3%	24.1%		
10	生徒会行事等に積極的に参加しており、いじめ等もなく、学校生活が楽しい。	4	5	1	1	81.8%	18.2%
		36.4%	45.5%	9.1%	9.1%		
		27.6%	55.2%	13.8%	3.4%		

各項目の下段の数値は27年度中間の割合

平成28年度保護者アンケート（中間）集計結果

	回答数	回答率	在籍数
総数	11	100.0%	11
1年生			
2年生			
3年生	11	100.0%	11

No.	質問項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	思う	思わない
1	お子さんたちの進路希望に対応できるような教科・科目が設定されている。	4	7			100.0%	
		36.4%	63.6%				
		46.4%	50.0%	3.6%			
2	教員は、分かりやすい授業にするために工夫し、学習内容や授業の充実に努めているとともに、少人数クラス編成の特色を活かして、学力の向上に積極的に取り組んでいる。	3	8			100.0%	
		27.3%	72.7%				
		50.0%	50.0%				
3	明るい挨拶、礼儀や言葉遣いなど、高校生としてのマナーやエチケットの規範意識についての指導が十分に行われている。	4	7			100.0%	
		36.4%	63.6%				
		57.1%	39.3%	3.6%			
4	教員は、進路希望達成のため、個々に応じた面談や進路指導をはじめ、課外授業や長期休業中の講習等により、進路希望達成状況の向上に積極的に取り組んでいる。	5	6			100.0%	
		45.5%	54.5%				
		55.6%	33.3%	11.1%			
5	部活動が活発で、顧問も熱心に指導して部の活性化を図り、悩みや相談にも親身になって応じてくれる。	6	5			100.0%	
		54.5%	45.5%				
		46.4%	50.0%	3.6%			
6	公開授業やホームページ、メール等による情報発信によって、保護者や地域との連携が十分に果たされている。	3	5	3		72.7%	27.3%
		27.3%	45.5%	27.3%			
		28.6%	46.4%	21.4%	3.6%		
7	お子さんは、出された課題をきちんとやることにより家庭学習の習慣が身に付き、週20時間以上行っている。	1	6	4		63.6%	36.4%
		9.1%	54.5%	36.4%			
		14.3%	39.3%	25.0%	21.4%		
8	学校で行う健康診断等の受診結果に応じて必要な事後措置を欠かさずに行い、お子さんは、宿泊施設での生活を含めて健康について自己管理しようとする態度が身に付いている。	2	7	2		81.8%	18.2%
		18.2%	63.6%	18.2%			
		17.9%	64.3%	17.9%			
9	お子さんは、読書に親しむ習慣が身に付いている。今年度新設した図書コーナーや大学の図書館を十分に活用している。	3	5	3		72.7%	27.3%
		27.3%	45.5%	27.3%			
		17.9%	35.7%	28.6%	17.9%		
10	お子さんは、生徒会行事等にも積極的に参加しており、いじめ等もなく、楽しい学校生活を送っている。	3	8			100.0%	
		27.3%	72.7%				
		42.9%	50.0%	7.1%			

各項目の下段の数値は27年度中間の割合